

# 各会派新年の抱負

## 自由民主党

謹んで新年のお慶びを申し上げます。

昨年9月公表のアベノミクス第2ステージでは、  
①希望を生み出す強い経済、②夢をつむぐ子育て支援、③安心につながる社会保障という「新三本の矢」が示されました。その一方では、こうした対策による景気回復の効果が十分には行き渡っていないというのが、区民や区内企業の実感です。

私たち自由民主党荒川区議会議員団は、首都直下地震への備え、中小零細事業所への支援強化、子育て支援・高齢者福祉対策など人口減少社会への対応等、山積する重要課題を解決するため、心耳を澄まし、より謙虚に、より丁寧に、**会期概ね350日の通年議会の利点を活かし、様々な提言を行い、**区民生活の向上を進めてまいります。

### 【防災対策・防犯対策】

東日本大震災や関東・東北豪雨の検証を踏まえ、**洪水発生時のハザードマップの改訂、全ての避難所での開設運営訓練の実施等、ハード・ソフト両面での災害対策の充実強化とともに、防犯カメラの積極的な普及支援、高齢者を狙った特殊詐欺撲滅の取組等の防犯対策を強化してまいります。**

### 【健康・福祉・子育て支援及び教育】

暮らしの安心と教育の充実のため、地域密着型介護施設の整備への区独自の財政支援制度の創設検討、認知症地域支援推進員の全ての地域包括支援センターへの配置、重度障がい者グループホームの整備など障がい者の親なき後対策、私立の保育園や幼稚園等に対する支援の充実、学校パワーアップ事業や学力向上マニフェストの推進、良好な教育環境の整備に欠かすことのできない学校トイレの改築等を進めてまいります。

私たち自民党区議団13名は、荒川区の行財政改革を主導し、縦割り行政の弊害をなくし、絶えず弱い立場の方々に思いを致し、幸福実感都市あらかわの実現に向けて、全力を尽くす決意です。



地域包括支援センター（東尾久）

## 公明党

初春を寿ぎ、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。公明党は昨年1年間、責任ある与党として、国民の側に立った政治を進めてまいりました。

今後も「一人一人が輝き、活躍できる社会の実現に向けて」現場第一主義に徹し、生活者に寄り添う政治を貫き通してまいります。

公明党荒川区議団は昨年11月、128項目にわたる「平成28年度予算に関する要望書」を提出いたしました。

主なものを挙げてみますと

- ①公会計制度改革の推進
- ②介護予防のための環境整備及び諸施策の充実
- ③切れ目のない子育て支援策の拡充
- ④障がい者に対する就労支援の充実
- ⑤受動喫煙防止対策の強化
- ⑥魅力ある複合施設「ゆいの森あらかわ」の整備

- ⑦安心・安全な街づくり
- ⑧特殊詐欺根絶対策の更なる強化
- ⑨災害に備えた防災対策の拡充
- ⑩空き地・空き家対策の推進 等々

本年も公明党荒川区議団6名は、どこまでも区民一人一人の声に耳を傾け、子どもたちが希望を持てる社会構築の実現、そして高齢者がいつまでも健康で安心して住み続けられる街づくり等、地域の課題に全力で取り組んでまいります。



元気に遊ぶ子ども達